

第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場  
指定管理者候補者選定委員会会議録

1. 開催日時 令和元年9月25日(水)午前9時30分から午前11時10分
2. 開催場所 門真市役所本館2階 大会議室
3. 出席者 (委員) 船越委員長、猪野副委員長、北岡委員、福田委員、満永委員  
(事務局) 西口教育部管理監、中野教育部次長、隈元社会教育課長  
中谷社会教育課スポーツ推進G長  
西口社会教育課上席主査
4. 内 容 開会、審査方法説明、プレゼンテーション審査、休憩(集計)  
審査結果の報告、総合評価、閉会
5. 傍聴定員 - (非公開のため)
6. 担当部署 (担当課名) 教育部 社会教育課  
(電話) 06-6902-7195
7. 会議録

【事務局】

それでは、第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場指定管理者候補者選定委員会を開催させていただきます。

開会に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、議事次第でございます。

資料1「配席表」でございます。

資料2「第2回選定委員会予定表」でございます。

資料3「質問一覧表」でございます。

資料4「第2次審査評価個表(案)」でございます。

資料3「第1次審査結果報告」でございます。

本日、委員5人中5人が出席されておりますので、この会議は成立していることを報告いたします。また、本会議では議事録作成支援システムを設置しております。委員の皆様におかれましては、発言の際には卓上マイクのボタンを押したうえでご意見等について発言していただきますようお願いいたします。

それでは、この後の議事運営を委員長にお願いしたいと存じます。委員長よろしくようお願いいたします。

【委員長】

皆さん、おはようございます。

それでは、第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場指定管理者候補者選定委員会を開会します。

今回1社ですけれども、候補の方が今日来られてプレゼンテーションをされるということですから候補の方が適しているかどうかという判断を先生方にさせていただければいけないと思いますので、ご発言をよろしくお願いいたします。

それでは、第2次審査の方法などについて、事務局より説明をお願いします。

#### 【事務局】

それでは、第2次審査の方法などについて事務局よりご説明します。

資料2「第2回選定委員会予定表」をご覧ください。本日は、プレゼンテーション審査である第2次審査を行っていただいた後、第1次審査と第2次審査を合わせた得点を参考に指定管理者候補者を決定する総合審査を行っていただきます。第2次審査は申請書類を本市に提出した、株式会社エスエスケイのプレゼンテーション審査を行います。

次に資料4「第2次審査評価個表(案)」をご覧ください。プレゼンテーション審査では、申請団体から施設事業計画に関するプレゼンテーションを15分以内で行っていただきます。その後、各委員から所定の質問を行っていただき、残った時間を、応募団体が1社のみであるため、事前に設定していただいております残りの1問を質問できる時間といたします。質問時間につきましては、目安といたしまして15分程度で、全委員に質問を行っていただきたいと考えております。次に、配点は表のとおりとし、右の覧に採点を整数で記載していただきますようお願いいたします。合計点数につきましては、委員1人につき100点満点、委員5名500点満点といたします。「第2次審査評価個表」は、審査の前に配布いたします。

なお、選定可能とする得点の基準につきましては、委員全員の第2次審査の点数を合計した、500点に0.6を乗じた300点を、1次審査の得点836点に加えさせていただいた得点1,136点以上で、総合審査の結果とするよう考えております。

得点が1,136点未満となった場合については、「門真市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例」第4条第2項の規定により、本市が出資している法人または公共団体、若しくは公共的団体を候補者として選定したいと考えており、その際は、同条例第4条第3項の規定に基づき、門真市教育委員会より、本選定委員会へ再度、諮問させていただきます。審査評価個表については、団体のプレゼンテーション終了後、約15分程度時間をお取りしておりますので、審査において疑問に感じられる点や、他の委員のご意見をお聞きになりたい場合などは、この時間を活用していただき、併せて採点もお願いいたします。審査が終了しましたら「第2次審査個表」は、事務局が回収いたします。その後、得点の集計を行うため、休憩をお取りいただきます。集計結果がでましたら、第1次審査の得点と第2次審査の得点の合計を参考

として、指定管理者の候補者を選定いただくための総合評価を行っていただきます。なお、第1次審査の得点は、資料5「第1次審査結果報告」のとおりです。以上の提案をご承認いただきましたら、記入用の「第2次審査評価個表」をお配りします。

また、本市では、団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていないか、団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいないかという2点について事務局より審査の前に確認をさせていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願い申し上げます。以上で、第2次審査の方法などについて説明を終わります。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

ただいま、事務局より第2次審査の方法などについて説明がありましたが、委員の皆様からご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

特になさいますのでご承認いただいたものとしてよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

【委員長】

それでは、これからプレゼンテーション審査に移らせていただきますので、申請団体に入室してもらってください。

《株式会社エスエスケイ入室》

【事務局】

それでは審査の前に、2点確認をさせていただきます。貴団体の役員等に本市の市長または議員が加わっていませんか。

【株式会社エスエスケイ】

はい。

【事務局】

次に、貴団体の構成員に暴力団員または暴力団員と密接な関係を有する者はいませんか。

【株式会社エスエスケイ】

はい。

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了1分前にベルを鳴らします。15分後にタイマーがなりましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が指定管理者として施設の管理運営をしていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。

それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《株式会社エスエスケイ プレゼンテーション》  
(門真市情報公開条例第6条第2号の規定により不開示)

【委員長】

ありがとうございました。それでは、質疑応答に移りたいと思います。時間も限られております、委員が5名いますので1問につき3分以内で簡潔に回答をお願いしたいと思います。

【委員長】

ではまず私の方から一つ質問させていただきます。今、プレゼンテーションいただきましたけども、摂津市、四條畷市と大阪府下の近隣の地区で本件と同様に指定管理によるスポーツ施設の運営をされておられますが、それぞれに地区のスポーツ施策における課題ですね、そういう地区の共通点とか、あるいは相違点というのはどんなふうにとらえておられますか。

【株式会社エスエスケイ】

まずは、大変恐縮ですが、施設の老朽化、これが非常に顕著に表れておりまして、老朽化に対する経年劣化への修繕、そして日々のメンテナンスこの作業が思いのほか計画を上回ってしまうというような事態がございますので、いかに早期に発見できるかという作業に努めておるそういう状況が共通の課題でございます。もう一点は、非常にご高齢の方のスポーツ参加が多くございます。これにつきましても、ご高齢の方に楽しんでいただけるようなプログラムを展開しながら、その時その時で修正見直しをかけていくと、いわゆるニーズに合った働きをしておるとというのが共通のスポーツにおける良い現象といいましようか、高齢者のスポーツへの参加でございます。

【委員長】

何かその相違点、例えば摂津とか、四條畷と違う門真の何か、相違点みたいなものは何かとらえておられますか。

【株式会社エスエスケイ】

テニスに特化をしているという点で、いま申し上げたように施設に関しましては、体育館という拠点がございまして、そういう意味で幅広くスポーツに従事する環境を整えることができるんですが、今回の当施設に関しましてはテニスとグラウンドと、いわゆる特化した地盤がございまして、いかにこの二つの環境に地域の皆様が知っていただける、そしてそこで参加していただける施策を整えていかねばならないというふうに感じております。

【委員長】

ありがとうございました。

次の方、いかがですか。

【委員】

質問させていただきます。

いま日本ではスポーツの実施率を 65%にもっていきこうということで行政が取り組んでおりますけども、貴社におきましても生涯スポーツの具体的な提案をされて非常に理解できるんですが、提案いただいているようなスポーツ大会を開催してもなかなかスポーツに日ごろ親しんでない方が参加いただけないですね。先ほど提案がありましたようにホームページや広報でPRするということがあったんですけど、それではなかなかこれまでもやってきていると思うんですが、掘りおこしができない、だから、スポーツを実施していない人をどういうふうに掘り起こしていくかというのは、大変深刻な問題だと思うんです。そこに対して御社としてはどういうふうに展開していくかということ、もう少し具体的な内容を教えてください。

【株式会社エスエスケイ】

生涯学習推進計画にありますように、志を持った方といかにつながるかというところがキーワードにあらうかと思えます。対象としたスポーツをされてる方だけに焦点を合わせて告知をするのではなくて、例えば学校全体、あるいは指導者に対する告知、いわゆる対象を広げたPR活動を行っていききたいのと、あとやはり知ることと次には経験することがスポーツの参加の第一歩だと考えておりますので、少し重複をいたしますが、著名なトップアスリート招いて、まずそのスポーツはいかなるものかというものを、客寄せパンダという嫌な言葉がございまして、日頃、見られない手の届かない方とスポーツを共にしながら、スポーツの本質、そして仲間とともに学び

あう資質、そういったものを実際に経験できる場、これを提供していきたいと考えております。

【委員】

アスリートとか著名人を招聘して展開をするということなんですけども、やはりそれでは本来のスポーツ実施者の掘りおこしになかなかないと思うんですね。もう少し何か地道な活動というか、例えば、図書館とかそういうところにだけしか行っていない人に呼びかけるとか、何か違った方法を少しやってほしいと思うんです。

【株式会社エスエスケイ】

言葉足らずですみません、現在、展開してます施設の行政様と告知に関しましては、今、ご享受いただいたように文化施設などへのチラシの配布、ポスターを貼っていただく、そういった活動をしておりますので、少なからず運動施設に来られる方だけではなくて実際にスポーツに慣れ親しめない、親しまない方々にも行き届くようなPR活動、実際に経験しておりますし、門真市の中の文化施設への働きかけを行政の協力と承認をいただきながら、取り組んでまいりたいと思います。

【委員】

ぜひそういう展開をされて実績を上げていただくようによろしく願いいたします。

【株式会社エスエスケイ】

ありがとうございます。

【委員長】

では、次の方、いかがですか。

【委員】

私の方からですね、人員配置で少しお聞きしたいと思います。一応、シフト例ということで責任者、スタッフA、B、C、管理作業員の方、この5名で一応運営していくっていうことでよろしいでしょうか。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね。今の予定としましては、責任者を1名おいて窓口をやってもらう、あ

と準ずるスタッフ3名を配置してシフトで回しながら、あとは管理作業員ですね、こちらは管理だけという方という形で配置しまして日々営繕業務を担当する形でシフトを組んでおりますけども、あとは日々の運営していく中でプラスアルファが必要な部分があると思いますので、そこはまた様子を見ながら変更をしていこうと考えております。

【委員】

はい、人員の増減があるということですね。なるほど。

【株式会社エスエスケイ】

それも含めて年度ごとに人件費に対してはプラスアルファ余裕を持たしています。それに関しましては。

【委員】

では、責任者とスタッフA、B、Cとの御社の従業員の方になるかと思えますけれども、正規と非正規で言いますとどういう割合になるんですか。

【株式会社エスエスケイ】

今のイメージですと責任者は正規社員、スタッフAに関しては正規の社員、B、Cに関しては非正規で考えております。

【委員】

なるほど、一応これはあくまでシフト例ですけども、責任者の方がお休みの場合はスタッフA、B、Cで2日間まわしていくという形になるので、スタッフの中にもちゃんと正規の方がおられて責任者に準ずるような形で、権限と責任もって運営していかれるということでしょうか。

【株式会社エスエスケイ】

不在の場合に対して、不測の事態に備えて、スタッフの準ずるものが、一応、副責任者として対応する形を考えております。

【委員】

例えば祝日なんかどうでしょう。今月なんか2回くらい三連休はありましたけど、そういう場合っていうのはどうお考えですか。

【株式会社エスエスケイ】

どうしても利用者が多いと思いますので、基本的には、そこは土日管理を基本に、2名以上は、いるように考えております。

【委員】

祝日や連休に応じてシフトを組んでいくということですね。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね、そこを中心に考えております。

【委員】

なるほど。スタッフの中には、子育て中の方や、障がいをお持ちの方とか、高齢者の方もおられる可能性もあると思うんですけども、平日なんか1人ですよ、基本的には運営していく中で、スタッフの方に、突発的な事態が起こった場合、例えば子育て中の方でしたら、幼稚園とか小学校でお子さんが熱を出してすぐ迎えに来てくださいますか、対応というのはすぐにできますか。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね、今、管理している中もそういう施設は多いです、主婦の方も多いというのがありますので、理想を言えば、スタッフ間で代理がきけば一番理想なんですけども、不足の場合があれば本部の方から応援に入ったりとか、先ほど申しあげたとおり摂津と四條畷の施設がありますので、そこからスタッフの応援を考えております。

【委員】

最後に、パートタイマーの方なんかには正社員への登用制度があったりとか、例えば資格所得とか仕事の習熟度に応じた処遇、例えばなんか手当がつくとかそういうものはありますか。

【株式会社エスエスケイ】

一応そうですね、パート社員であっても本人が希望してある程度の年数の勤務を満たせば、契約社員の方に上がるという制度は設けております。

【委員】

資格を取られて手当がつくというのは、今のところ考えておられませんか。

【株式会社エスエスケイ】

今そうですね、考えてる中では、そこまでは考えてないです。

現在はスポーツ指導員の資格等に関しましては、積極的に自社の経費で資格の取得を進めております。

【委員】

パートの方にもですか。

【株式会社エスエスケイ】

はい、ただし、そこにいわゆる手当というものは設定しておりません。

【委員】

わかりました。ありがとうございました。

【委員長】

では、次の方、いかがでしょうか。

【委員】

はい。事前にご提出いただきました様式第3号に管理業務収支計画書があると思うんですけども、この中に実施事業について、内訳をみますとスクール、自動販売機、プール補助券、物販と記載がありますが、自動販売機が3台くらいの販売機があってその収入だと思いますけども、それ以外のスクール、プール補助券、物販等について具体的に教えてください。

【株式会社エスエスケイ】

スクールに関しましては現行ありますテニススクールの継承を第一に考えておりますので、それを引き続きやっというところと考えると、あとはプラスアルファでもしその稼働率を増すためのスクールがあるのであれば、グラウンドゴルフの教室であったりとか、あと野球関係のイベントをやったりとかは、自主事業を進めていくよう考えております。

プールの補助券に関しましては、現行指定管理者の中でも内訳がありましたので一応こういうふうに加えているというくらいで、詳細に関しましては、まだ把握していない部分が多いので、具体的な金額までは考えておりません。

【委員】

あと物販については。

【株式会社エスエスケイ】

✓  
物販に関しては、テニスに係るものがメインになると思うんですけどもガットの張替えだったりとか、サプリメントの販売、あとはグリップテープなんかの販売を考えております。

【委員】

それは現場で行うわけですか。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね、現場で行います。

【委員】

これは、現指定管理者ではしていないことですかね。

【株式会社エスエスケイ】

ガットの張替えは今も行っております。

【委員】

現指定管理者との違いといいますと、スクールの中のプラスアルファイベントくらいでしょうか。

【株式会社エスエスケイ】

物販に関しましては、スポーツ専門メーカーになりますので、商品ラインナップとか、あとは細かい在庫の入れ替えだったり、よりプラスアルファできるかなと考えております。

【委員】

これは収入の面で実施事業が令和2年度600万から令和6年度690万くらいですけど、このあたりは現指定管理者の金額をベースに算定されておられるのでしょうか。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね、プラスそこへテニススクールを中心に、はい。

資料に書いておりますテニススクールのタイムテーブルのところなんですけども、実際、どこもそうなんですけど、午前中が稼働率というところ、教室もそうなんですけど、なかなか皆さん暑いじゃないですか、10月にはいろいろかなという時に30℃近い、これって生涯スポーツといえども結構危険な状態もあるのです。ただ私どもが進めていまずものは、今現行のタイムテーブルを見たときに歯抜けの状態、使っていない状況が少

しある教室なんかでも、そのところの改革を進めてまして、この時間帯にしかいない女性陣、テニスを競技としてやっておりまして、全国レディースという女性の方の全国大会があるんです。そういう方っていうのは、日中でも真っ黒になりながら、テニスコートを使っておられ、四條畷であったり摂津であったりでも使っています。ここは僕たちは改革できるかなというところなんですけども、ここではですね専任のコーチやはりテニススクール・テニス教室を行う場合、今ですと広報であり、先ほど言っていたように広告とかをうったとしてもなかなか来ない、ただテニス事業としましてはコーチなんです。指導者にお客様がつくんです。ということはこの指導者につけば勝てる楽しい何か導いてくれる。そういうコーチにつくんです。私たちはコーチを育てるという意味もそうですし、実績があるコーチを呼んで、トップアスリートではなく、普段から常駐してレッスンをしてくれる方を呼びながら、あまり使われていない改革をしていきたいと思えます。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

いかがでしょうか。

【委員】

失礼します。事業計画 74 ページ、75 ページあたりには、生涯スポーツの事業提案のところ様々やっていただいておりますが、例えば先ほどあったキャッチボールですか、キャッチボールクラシックってありますよね、少年野球の連盟とか連携しながらやっていこうということでやっていただいております、非常にいいなと思ってるんですが、様々な事業提案をしていただいているんですが、当然、休日とかそういう時に行くということですか。

【株式会社エスエスケイ】

子どもたちが参加しやすい日程を検討します。

【委員】

なるほど、例えばノルディックウォーキングですか、そういうのもあるとその中で、例えば、こういう連携事業をいろいろやっていただくのは構わないのですが、例えば、個人とかサークルとかですね、そういうところの利用が制限されることがないのかなと、そういう懸念があるのですがその対策とか、あるいは利用方法を具体的にお示しいただけますでしょうか。

【株式会社エスエスケイ】

あくまでも一般利用者様が優先なので、現在スポーツに取り組んでおられる個人、クラブ、サークルそういった方々がメインとなります。空き時間を利用してこのような活動をしていくというのが基本的なスタンスでございます。

【委員】

あくまで一般の方が優先ということですね。あと先ほど高齢者の方々のスポーツとおっしゃってましたが、我々やはり生涯スポーツの基礎を培う子どもの頃からきちんとしたスポーツに携わっていくというのが大事ななと思っているのですが、この野球以外ですね、例えば子どもたちにこのような体験をさせたいというような具体例は、他市でやっている例でも結構ですので教えてください。

【株式会社エスエスケイ】

非常に影響力の高いのはかけっこ教室ですね。足の速くなる基本的なフォームとか、そういったかけっこを主とした教室をこれが非常に参加率が高いと思います。中にはちょっと違ったところで、これは生涯学習とリンクをするかと思いますが、なかでは木工教室という全くスポーツに係らない教室なんかもチャレンジをしております、予想以上のそういった文科的な教室の参加も多いというところがございます。あと、元プロ野球のトレーナーさんを招聘しながら、体の使い方を教える講習会なんかも実施しておりますので、野球に限らず幅広い分野で展開をしております。

【委員】

かけっこ教室というのは、割と幼児が参加するのですか。

【株式会社エスエスケイ】

一応メインは小学生を対象にやっているんですけども、幼児にはなかなか指導が難しいというのがありますので、まずは小学生を対象にメインでっております。

【委員】

わかりました。以上です。

【委員長】

ひとまわり質問を終わりましたが、時間のほうがまだ結構ございますので、各委員の方々追加の質問があればお願いします。どうぞ。

【委員】

それでは私の方からさせていただきます。障がい者とか高齢者に配慮した事業提案も提案いただいていますし、地域の活性化ということについても心掛けなされていると思うのですが、地域の各関係団体ともう少し具体的にどのように連携をとろうと考えているのか、連携をとるとおっしゃっていただいておりますが、具体的にどういうふうに連携をとるのかと、連携をとるうえで、今どういう点が問題とされていて、そこに対してどういうふうに傾注していくかというお話しいただきたいと思います。

#### 【株式会社エスエスケイ】

先ほどのご質問と一部重複するかと思いますが、今はグラウンドやテニスコート空き時間がないということが非常に、いわゆる各団体様、個人様の取り合いみたいな状況が多かれ少なかれ起こっております。現在、展開をされている各 NPO 団体様の活動を私どもが指定管理者になったことで排除するようなことは一切したくありません。したがって、ご活動を我々も協力をしていく、例えば団体様の主催イベントに私どもが景品などの協賛をする、大会を盛り上げていく運営のお手伝いをする、そういったことでともに高まるようなそんな施設にしたいと考えております。さらにこれから自主事業を展開していきますが、これも現在の施設の中で NPO 団体様の活動されている方々に講師になっていただいて、事業を自主事業としてお手伝いをしていただくというケースが実際にございますので、私ども指定管理者と地域の団体様が、ともに手をつなぎながらスポーツというともに目指す同じ目標を歩んでいきたいと考えております。

#### 【委員】

すでに、市内各団体さんを訪問されて具体的な連携が取れるかどうかというふうな動きをされているのでしょうか。

#### 【株式会社エスエスケイ】

実際に残念ながら具体的にお話しているということはありません。

#### 【委員】

連携をとりたいという気持ちは非常にいいことなのですが、どういうふうに連携をとっていくかとか、その団体がどういうような事業をやっているかということをも十分把握されて連携をとっていく必要があると思うのです。その辺、よくご承知おきいただいてより深い連携をとっていただきたいと思います。

#### 【株式会社エスエスケイ】

はい。ありがとうございます。

【委員長】

他はいかがでしょうか。お願いします。

【委員】

先ほどの管理業務収支計画書についてちょっとさらにお聞きしたいのですが、収入と支出を差し引いた収支ですね、収支につきまして、5年間で115万円のプラスというふうに出ておるんですが、この115万円、収支がプラスになるということは、その分指定管理料を安くできるということでしょうか。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね、当然その考えもあるんですけども、やみくもに管理料を下げるのではなくてこれだけ予算の余裕をもたせながら、一応次年度の投資を含めて、修繕であったりとか設備投資というふうにまわせるように考えておりますので、収支上プラスにしておりますけど、実際、前向きな投資をすることで稼働率、利用者の増加につなげようとは考えております。

【委員】

プラス部分は何か繰り越しというよりも、何か市民のために支出で賄っていただけるといえることですか。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね。施設のために投資しようと考えております。

【委員】

あと、管理に関する経費の縮減についてということで、今回のプレゼンしていただいたところのスポーツメーカーのネットワークをいかした設備への投資という名目で、経費の縮減が記載されておりますが、具体的に教えてください。

【株式会社エスエスケイ】

そうですね。我々数多くのメーカー業者取引がありますので、テニスコートのネットであったり、ボールであったりと備品に関してかなり安く仕入れが可能になります。そういうネットワークを活かしながら安い価格で当初幅広くやっ払いこうという考えであります。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

他いかがでしょうか。

【委員】

危機管理についてお伺いしたいのですが。計画書では36ページ、37ページ以降に書いてありますけども、昨今、地震があったり、あるいは台風ですね、それからあるいは事件ですね、そういったことで我々管理する者としても非常にそのあたりは気を使っておるところでありまして、そういう事件とか災害とかが突発的に起こった時に対する職員の訓練ですね、ここに書かれているんですが、もう少し詳しくどんな訓練されているのかということをお伺いしたい。他市でこんなふうな訓練をしたからこんなふうに行動できたというような例があれば教えていただきたいのですが。

【株式会社エスエスケイ】

幸いにして、事件というものが今のところございません。ただし緊急マニュアルをすべて配備をしております、もちろん地震、台風、今回の不審者の対応、そして突発的な怪我や病気、そういうケース別のフローをすべてまとめております。今ご質問いただいたような事件、いわゆる不審者の侵入というものは経験がございませんので、このマニュアルに沿って現実的にできるかどうかということを改めて検証等訓練を、進めていきたいと思っております。

【委員】

不審者の侵入というだけではなくて近隣で強盗が起きたとか、あるいは包丁を持っている者がいるとか、そんな者が歩き回っているような状況がありますので、そういったことにも対応できるようにお願いしたいなと思うのと、もう一点、熱中症に対してもWBGTですか、そういうものを使いながらきちっと管理しておられるところですが、それ以外の熱中症対策として、とりわけ気を付けておられることがあれば教えてください。

【株式会社エスエスケイ】

今回のような熱中症WBGTの測定値に対する告知と、あとは喚起パネル、こういうのはおそらく一般的だと思うんですが、冷凍ストッカーを今回調節しまして、常に氷がある状態、これは熱中症以外のいわゆる突発的な怪我の対応処置も含めて、氷の配備は継続的に切らさぬように行ってまいります。あとは他の施設でもありますが、シャワーミストを設置しまして、なるべく涼が取れるような環境づくりというのは他の施設でも行ってまいります。

【委員】

わかりました。

【委員長】

他にはいかがでしょうか。

よろしいですか。追加の質問もいただきました。時間のほうがもう少しありますが追加の質問がなければこれでよろしいですか。

【委員】

はい。もう一点よろしいですか。

【委員長】

どうぞ。

【委員】

結構テニスの方につきましては、何か午前中とか結構空きの時間つきましていろいろ積極的に何か施策があるってお話ですが、野球グラウンドの方はいかがでしょうか、私、実際休日に見に行った時に、休日のお昼から夕方くらいでしたか、テニスコートは全部埋まっておりましたが、野球は全然使われていなかったのですが。それでその野球グラウンドにつきましてはどのようにして増やそうというお考えがあるか教えてください。

【株式会社エスエスケイ】

平日の閑散時間があります。私どもの会社の中で企業を対象と企業を顧客としたスポーツイベントの運営をするセクションがございまして、そちらとともに、企業約400社とともに、イベント企画運営を行っております。その企業様の中で、いわゆる自動車ディーラー様、あるいは不動産関係様は、平日がお休みですので、そういった企業のクラブ活動チームに、その部隊が投げかけをしてくれまして、空いている時間を活用いただいているというような状況が現状としてはございます。

【委員】

はい、わかりました。

【委員長】

最後に私の方からもう一つ質問させていただきます。御社がですね、いろいろ指定管理施設、あちこちで請け負っておられますが、今日もいろいろご提案いただきました。

利用促進を図るためのサービス面、いろいろされていると思うのですが、近年導入した手法の中で、特にその効果が大きく今回のご提案に組み込んだ一番の具体的な方策があれば教えていただきたいと思いますがいかがですか。最近導入した中での事例でこれが特にこれから力を入れてやっていけばおそらく門真市でも功をそうするのではとお考えの方策ですね。

【株式会社エスエスケイ】

やはり一番反響が大きいのは、プロのトップアスリートを招聘したイベントがかなり反響がありますので、昨年で言うと、野球阪神タイガースの現役選手を呼んでイベントをしたりとか、あとはバドミントンの元オリンピックプレイヤーの小椋久美子選手を呼んだりしてイベントすると、やはりネームバリューがありますので、皆さんその競技をされない方も参加してくれまして、施設に来てくれる、施設を知ってもらうというふうにつながっていますので、その辺の効果は感じているところございますので、それも門真市の方でもぜひやっていきたいというふうに考えております。こういったスポーツ選手の招聘ということ以外に、奈良の天理でも指定管理をさせていただいておりますが、私どもがFリーグというフットサルのトッププロリーグがございまして、そのチャンピオンであります名古屋オーシャンズ様とユニホーム契約のお付き合いにより、いわゆるシーズン前のプレシーズンマッチとしまして、大阪のシュライカー大阪を招聘し、その施設で大会を開催計画して実際に開催をしたという経験と、あと京都ハンナリーズ、こちらもサプライヤー契約をしておりますので、バスケットのBリーグについては、行政とともに協力関係で試合を開催したという実績がございます。以上です。

【委員長】

ありがとうございました。先ほどの冒頭の方にいろいろと委員の方からもありましたけども、そういうアスリートを招聘するというのは非常にインパクトがありますが、それに反応する方と、やっぱりそれには全然反応しない方っていうのもあると思いますので、そういう方々も幅広く呼び込めるようなこれからアイデアを提案していただければありがたいなと思います。ありがとうございます。

【株式会社エスエスケイ】

ありがとうございます。

【委員長】

あとはよろしいですか。

(はいとの声あり)

【委員長】

ではこれで審査を終了したいと思います。審査結果につきましては10月下旬頃に郵送にて通知させていただきます。今日はどうもお疲れさまでした、ありがとうございました。

【株式会社エスエスケイ】

貴重なお時間をありがとうございました。よろしくお願いいたします。

《株式会社エスエスケイ 退室》

【委員長】

委員の皆様ありがとうございました。只今の株式会社エスエスケイの審査について、何かご意見等ございましたら、どうぞご自由にご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。感想でもいいんですが。

【委員】

そうですね。熱心に発表、誠意を見せようと思っておられると思うのですが、私の質問も含めてなのですが、例えば連携をとろうとか利用者を深め、広げるとか増やそうとかいう気持ちで、提案わかるのですが、もう少し何か具体的な地道なことを聞きたかったところがちょっと残念に思います。

【委員長】

いかがですか。

【委員】

そうですね。今回応募がエスエスケイさんしかなかったということで、やっぱり比較検討を数社やっぱり応募があって比較検討していく中で、やっぱりちょっと評価していきたかったなっていうところはあるので、ちょっと今回はそういう難しかったです。

【委員長】

でもプレゼンを聞いてらして感触は。

【委員】

そうですね。熱意というのをすごく感じたのですが、やはり副委員長がおっしゃっ

たように具体的にやっぱり地道にスポーツを根付かせていくって部分の具体案とですね。もうちょっと聞きたかったかなとは思いますが。ただ、プロのトップアスリートを呼んできていろいろなイベントをうつってというのは、僕はスポーツが好きなので、やはりちょっと魅力を感じる部分ではありますね。

【委員長】

いかがですか。

【委員】

収支に関しましては、現指定管理者よりもちょっと安くなっておりますのでその点はいいことだなと思えました。ただ人の集め方、呼び方につきましては、プロのそういう選手を呼ぶのは確かにすごいことだなと思えますけども、それ以外いろいろ見てますと広報かどまとかに掲載したりとかありますが、たぶん市民の中で広報かどまを見ての方がどれだけいらっしゃるのかなというのもありますし、私も56年間門真市に住んでいますが、こういう委員とか、今固定資産評価委員もさせていただいてからは毎月見ておりますが、それまでははっきり言ってほとんど見たことがなかったの、あとはホームページも門真市のホームページも私も今までそんな見たことも、いろいろ委員をさせていただいてから見てますけど、そういう意味では確かにプロの選手とか呼ぶってというのは、そういう媒体よりは多少インパクトあるのかなっていうのがあります。若干は期待しております。以上です。

【委員長】

いかがですか。

【委員】

熱意を感じましたね。体育会系の会社なんかなというような、その熱意は感じました。それと我々学校教育も預かる者としては今我々学校教育の方でもトップアスリート事業といいまして、この前、脇田小学校にパナソニックパンサーズを呼んだりとか、門真の子どもたちに少しその道でいろいろ頑張っている、文化面でもありますし、例えば近所のおもしろい八百屋のおじさんとか、いろんな良いモデルと出会わせてあんな大人になりたいなという思いを持たせて、それが学びのモチベーションなればいいなというようなことを思っておるのですが、そんな中でトップアスリートとかを連れてきていただいたりするというのが、子どもたちにそういうモデルと出会わせるという機会がもっと増えるというところで、子どもたちだけのためではなく、学校教育を預かるものとしては、子どもたちにそういう影響を与えることができるのかなというところで期待をするところでございます。以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

皆様のご意見をいただきました。私もプレゼンテーションを聞いておりまして非常に慣れておられますし、熱意も感じますしよかったですのですが、門真市以外のほかのところでのプレゼンテーションするのとあまり変わらないのかなと、若干そういう気がいたしまして、もうちょっと門真市ならではのお話というか、例えばそのアスリートであっても門真市に由来のあるアスリートの名前を挙げていただくとか、何かちょっとそういうのがあればなおよかったのかなという気はいたします。ただ1社で比較対象がない中では、誠実なプレゼンテーションをしていただいたという印象はありますし、私自身はいい印象を持ちました。

【委員長】

では早速これで採点に入ってよろしいですか。

では採点を行ってください。よろしく願いいたします。

《採点中》

【委員長】

採点にあたって何かちょっと疑問とか、コメントとかはありませんか。

時間はたっぷりありますが集計よろしいでしょうか。

それでは、事務局は第2次審査評価個表を回収し、集計を始めてください。集計結果が出るまで休憩をさせていただこうと思います。

《休憩および集計》

【委員長】

それでは委員会を再開します。まず、集計結果について事務局から報告をお願いします。

【事務局】

それでは、集計結果について報告します。集計結果は第1次審査と第2次審査の得点と合計得点をご報告します。

第1次審査の得点は、836点です。

第2次審査の得点は、398点です。

第1次、第2次の合計得点は、1,234点です。

基準点の1,136点を満たしております。

以上で、集計結果の報告を終わります。

【委員長】

では、次に、第1次書類審査及び第2次プレゼンテーション審査を通して、委員の皆さんから評価、選定に関してのご意見を伺いたいと思います。

では議論いただけますか。

【委員】

大きな問題はなくて、妥当かなと

【委員長】

いかがですか。

【委員】

先ほども申しましたが、今回やっぱり1社しか応募がなかったということでやっぱり比較検討したかったなと、数社というところがあるので、ですが第1次審査、第2次審査ともに会社からの熱い想いってというのがちょっと伝わった部分がありましたので、今回のこの結果については良かったかなと思っています。

【委員長】

ありがとうございます。いかがですか。

【委員】

エスエスケイさんという大きなスポーツメーカーさんですので、そのあたりのこねなり人脈等を使っていただいて、門真市民に役に立つことをしていただきたいなという期待をもってよいと思います。

【委員長】

いかがですか。

【委員】

私も熱さと言いますか、誠実にやってくれるだろうなと期待感を持ってました。門真の生涯スポーツの推進にですね、様々なリソースを今まで以上に活用してもらえたらだろうなといったことを一定期待はしているところでございます。

以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございます。

当初から言っておりました今回1社だけの応募ということですから、やはりそこをしっかりと見極めていく必要があったのかなというふうに思います。今日のプレゼンテーションですね、非常に誠実なプレゼンテーションであったと思いますし、いろんな指定管理を請け負っておられるという実績と自信ですかね、そういったものをしっかり表に出してこられましたので、何とか期待というか、それは推したい気持ちであります。点数につきましても、基準となる点数を大きくクリアしておりますのであとは実際にご活躍いただいて、のちの評価につながっていけばいいのかなというふうに思います。

【委員長】

それでは、第1次審査と第2次審査の合計得点と皆様のご意見を集約し、指定管理者候補者を、「株式会社エスエスケイ」と決定したいと思います。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

【委員長】

それでは、以上のお通り、教育委員会に答申を行うことと決定します。

最後に、今後のことについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、今後のことなどについてご説明させていただきます。

まず、指定管理者候補者を指定管理者として決定されるまでの手続きについてご説明します。本日の総合評価により指定管理者候補者として選定された団体を、10月23日に開催されます令和元年度門真市教育委員会第6回定例会に議決案件として上程し、議決を求めます。可決されましたら、申請団体に対して選定の通知を郵送により発送するとともに、12月下旬に開催される門真市議会令和元年第3回定例会に上程し、議決を求めます。この議会での可決をもって候補者は指定管理者として決定されます。委員の皆様におかれましては、門真市教育委員会に上程される10月下旬までは審査の結果について口外されませんようお願いいたします。

次に、会議録の公開について、門真市教育委員会では指定管理者の候補者が選定された後に公開したいと考えておりますので、今後、ご発言の個所の確認をお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございます。

ただいま、事務局より今後のことなどについて説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんか。

よろしいでしょうか。

【委員長】

では、以上をもちまして、第2回門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場指定管理者候補者選定委員会を閉会します。

委員の皆様の積極的な発言等によりまして滞りなく進めることができました。ここでお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【事務局】

大変お忙しいなか貴重なお時間を割いていただき、門真市立テニスコート及び門真市立青少年運動広場にふさわしい指定管理者候補者を選定いただきましたことを、事務局一同、心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。